

平成30年度 釧路の研究活動

研修部長 弟子屈町立奥春別小学校

校長 小原正寿

1. はじめに

釧路校長会では長年にわたり、自主的に研究協議会を実施してきた。管内の校長が一堂に会し、研究課題に基づく研究協議を行うとともに、会員相互の親睦を図り、結束を高めてきた。

今年度は、釧路管内が直面する課題を追究する3か年研究計画の2年次目として、「第59回釧路校長会研究協議会」を10月26～27日の2日日程で実施した。釧路校長会全体の課題意識の共有化と組織的な実践研究の充実、さらには会員個々の職能向上を目指し、研究活動に取り組んでいる。



2. 研究及び活動の計画

(1) 研究計画

研究主題

『釧路の風土で知を磨き、未来を切り拓く児童生徒の育成を目指す学校教育』（2/3年次）

視点1 「組織運営の活性化」

学校の組織運営改革と新たな教育課程編成における校長の指導力

研究内容(キーワード)

校内組織の改善、学校運営を支える体制の整備、家庭や地域社会との連携、教職員の連携、特別支援教育の指導体制、組織力強化の工夫、危機管理体制の確立

視点2 「教職員の育成」

次代の学校・地域を創成する教員の資質能力向上を目指す校長の指導力

研究内容(キーワード)

キャリアステージに応じた人材育成、役割分担と人材育成、組織的な生徒指導体制、スタート・カリキュラム、教職員の意識改革や資質能力の向上、プロジェクト会議

共通する要素

教職員の意識改革や資質能力の向上、家庭や地域社会との連携、異校種間の連携など

釧路校長会研究協議会

各町村校長会の取組 各校の実践

(2) 活動計画

- ①第59回釧路校長会研究協議会の開催
- ②各種研究大会への参加体制づくり（道小、全連小、道中、全日中）
- ③道中十勝・帯広大会第1分科会「教育課程」提言（30年度）に向けた特別委員会

④道小胆振・苫小牧大会第13分科会「連携・接続」提言（31年度）に向けた特別委員会

3. 研究及び活動の概要

(1) 釧路校長会研究協議会の開催

①全体会

【道中十勝・帯広大会「教育課程」提言発表】

「創意工夫を生かした特色ある教育課程の編成・実施」

◇白糠町立白糠中学校 水野 秀哲

②分科会

【第1分科会「組織運営の活性化」】

「経営ビジョン実現に向け、教職員・地域の強みを引き出す組織編成における校長の指導力」

◇鶴居村立幌呂中学校 瀧本 浩之

【第2分科会「教職員の育成」】

「教職員の意識改革とライフステージに応じた学校運営参画における校長の指導力」

◇標茶町立沼幌小学校 岩崎 等

《1日目》提言を基にしたグループ協議

《2日目》実践レポート交流とグループ協議

(2) 各種研究大会への参加

①道中十勝・帯広大会（9月21～22日）

16名参加 第1分科会提言発表

②全連小北海道函館大会（10月4～5日）

16名参加

③全日中鳥取・米子大会（10月25～26日）

2名参加

(3) 特別委員会の開催

①道中特別委員会 5名 3回

②道小特別委員会 5名 3回



4. おわりに

10月下旬に2日日程で開催した研究協議会は、道中十勝・帯広大会での提言内容を発表する全体会と課題ごとの二つの分科会で、課題解決に向かう校長の指導性を明らかにした（分科会の提言発表は、全体会で実施）。道中十勝・帯広大会での提言は、1学校の実践ではなく、釧路管内の実態や課題に基づき、校長会としての組織的な取組、関係機関との連携、校長会による積極的な関与を発表する機会となった。

1日目の分科会では、小グループに分かれて提言発表に基づく研究協議を行い、研究課題の解明に努めた。2日目の分科会では、各自が自己の実践レポートを持ち寄り、経験年数等の異なる校長が小グループで討議する参画型の研修を行い、明日からの学校経営に直結する実り多い研究協議となった。

また、各分科会には、釧路教育局長鈴木淳様、義務教育指導監武山昇様をお招きし、それぞれの研究課題の解明に直結する講評をいただいた。

今後も会員各位の理解と協力を糧に組織を挙げて研究活動に臨む所存である。